

SPORTS LEGACY Report 2017

東京マラソン財団 「スポーツレガシー事業」のご報告

Dream

スポーツの
夢

強化育成

アスリートの強化
ジュニアアスリート育成
キャリア支援

Environment

スポーツの
礎

環境整備

スポーツ施設などの
環境整備

Expansion

スポーツの
広がり

普及啓発

スポーツ大会の支援
及び普及啓発

Contribution

スポーツの
力

社会貢献

スポーツイベント等
を通じた社会的課題
解決への試み

**SPORTS
LEGACY**

TOKYO MARATHON FOUNDATION

スポーツレガシーとは What's the SPORTS LEGACY Program ?

近年、スポーツへの期待が高まる中、スポーツそのものが持つチカラにも関心が高まっています。競技スポーツやレクリエーションスポーツといった枠組みを問わず、「スポーツ」が起点となって、21世紀の東京そして日本に「明るい未来へとつながるレガシー」を遺していきたい。そんな想いから「スポーツレガシー事業」は始まりました。「スポーツが後世に遺せるものは何か」について語り合い実践する場を提供することで、スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現を目指します。

Message [応援メッセージ]

走ることで人生が変わったので、
走ることで少しでも
協力できればと思います。

56歳 女性

スポーツを軸に健康なポジティブライフを目指し、身体も健全で心豊かになれば、
自然に人生は好転していくのではないのでしょうか？
また、身体も心も強い人が増えれば、良い社会にも自ずとなっていくと思います。

46歳 男性

世界に誇れる素晴らしい
東京マラソンのため、
私が参加することで
支援できたらと思います。

41歳 女性

参加させて頂くことで
何かスポーツ振興の力になれるなら
がんばって走ります!!!

24歳 男性

健康づくりを目標として
楽しんでいく社会の実現において、
スポーツ振興は必要と思い、
役立てていただきたい。

58歳 男性

東京で生まれ育った一都民として、
自分にできること
(チャリティマラソン)を通じ、
できる限り恩返しをしていきたいと
考えています。

33歳 男性

マラソンを通じ
東京という街を世界に広めたい。
そしてこの大会が
この先ずっと続くように!

49歳 男性



スポーツの
夢
強化育成

若いアスリートを強化育成する 「ダイヤモンドアスリートプログラム」 公益財団法人日本陸上競技連盟

2020年の東京オリンピックにおいて特に活躍が期待されるタレント(才能)をもった競技者(原石)の強化育成を、2015年11月以降サポートしています。

サポート内容は多岐に渡り、リーダーシッププログラム(メディアトレーニング含む)、語学研修プログラム、医科学測定、海外合宿サポートプログラム、栄養サポートプログラム、海外コーチ招聘、国内競技会派遣、国内コーチ派遣等に及びます。

2016年度活動報告

●2016年度 リーダーシッププログラム【監修:為末 大】

第1回:2016年11月21日(月)

- ・対談「国際的なリーダーシップの育て方」ゲストスピーカー:小林 りんさん
学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(ISAK)代表理事
聞き手:為末 大
- ・振り返りワークショップ

第2回:2017年1月12日(木)

- ・講義「ソーシャルメディア時代のリテラシー」
藤代 裕之先生 ジャーナリスト/法政大学社会学部メディア社会学科准教授
- ・ワークショップ「身体への理解」向上研修

第3回:2017年1月13日(金)

- ・ワークショップ「グローバルコミュニケーション」向上
- ・対談 ゲストスピーカー:堀江 貴文さん
SNS media & consulting株式会社ファウンダー
聞き手:為末 大

第4回:2017年2月11日(土・祝)

- ・ワークショップ「ディベートを通して自身の選択について考える」
- ・まとめのワークショップ

●2016年9月30日実施 クリスチャン・ティラー 三段跳リクニック(右写真)



「ダイヤモンドアスリート」第3期認定式
(味の素ナショナルトレーニングセンター/
2016年11月21日)
(中央)小池百合子東京都知事、
(中央左)日本陸上競技連盟横川浩会長
(中央右)同連盟麻場一徳強化育成ディレクター



2016年11月21日に
ダイヤモンドアスリートプログラムを修了した4名
左から①北川 貴理(福井・順天堂大学)400m
②岩本 武(京都・順天堂大学)400m/400mH
③佐久間 滉大(神奈川・法政大学)走幅跳
④平松 祐司(京都・筑波大学)走高跳



サニブラウン アブデルハキーム
(東京・東京陸協)
100m/200m



山下 潤
(福島・筑波大学)
100m/200m



大塚 渉
(静岡・順天堂大学)
100m/200m



橋岡 優輝
(東京・日本大学)
走幅跳



江島 雅紀
(神奈川・日本大学)
棒高跳



池川 博史
(兵庫・筑波大学)
砲丸/やり投



北川 楓花
(北海道・日本大学)
やり投



長 麻尋
(和歌山・和歌山北高等学校)
やり投



高松 智美 ムセンビ
(大阪・薫英女学院高等学校)
3000m



ワークショップ

リーダーシップの本質は、「自分が目指すゴールの方向に、どうすればコントロールできるか」をやっていくこと。そのときには、他者に対してだけでなく、自分の振る舞いも含めて、どうすれば自分の思うようにもっていきやすいのかを考えよう。例えば、今日、みんながここでいろいろな質問をしたことによって、先輩たちとつながりが生まれてメンターができた。これが「セーフティネット」。そんな感じで、徐々に自分の環境を整備しながら、競技をやっていくうえで一番いい環境をつくってほしい。これを(人任せにせず)自分自身でつくっていくようにすると、いい競技生活が送っていくと思う。



スポーツレガシー事業運営委員
為末 大(元プロ陸上選手)

ダイヤモンドアスリートプログラム・サポーター



澤野 大地さん
(棒高跳・富士通)



藤光 謙司さん
(短距離・ゼンリン)



金丸 祐三さん
(短距離・大塚製薬)



山本 篤さん
(走幅跳・スズキ浜松AC)



麻場 一徳さん
(強化育成ディレクター)



朝原 宣治さん
(プログラムマネージャー)



高平 慎士さん
(短距離・富士通)



塚原 直貴さん
(短距離・富士通)



久保倉 里美さん
(短距離・ハードル・新潟アルビレックスRC)



小林 りんさん
(ISAK代表理事)

スポーツの
礎
環境整備

ランニングコース整備 2016、2017大会の寄付金にて実施予定

ランナーが気軽にランニングを楽しみ、仲間とともに継続できる環境の整備をサポートします。東京マラソンで使用している「計時チップ」の受信機をランニングコースに埋設し、「いつでも正確な記録計測ができるコース」を利用者に提供するシステムを計画中です。アメリカやドイツなどの公園において9つの先行事例があります。

※東京マラソンで使用された計時チップをリユース、または別途販売する予定です。



東京マラソン計時チップ



スポーツの
広がり

普及啓発

キッズアスレティックス×東京マラソンスタイル

日本キッズアスレティックス協会(一般社団法人キッズアスレティックス・ジャパン)

子どもたちの「走る・跳ぶ・投げる」を中心としたスポーツ基礎力を高めるとともに、陸上競技への関心が高まるようサポートしています。東京マラソンのコース沿道を中心に、5つの小学校にて実施されました。

2016年度活動報告

- 2016年10月20日実施 台東区立田原小学校
- 2016年11月29日実施 千代田区立千代田小学校
- 2016年12月8日実施 目黒区立下目黒小学校
- 2016年12月13日実施 足立区立皿沼小学校
- 2017年2月2日実施 江東区立東陽小学校



東京マラソンファミリーラン2017に、各小学校の代表(小学生と先生)が出席されました。

車いす陸上チャレンジサポート

一般社団法人ウィルチェアアスリートクラブ ソシオSOEJIMA

車いす陸上体験教室に参加した方が、実際に競技を続けられるようにサポートしています。

2016年度活動報告

- 2016年12月23日実施 車いす陸上体験教室(夢の島競技場)
- 2017年3月18日実施 車いす陸上体験教室(江戸川区陸上競技場)

関連
イベント

副島正純車いすレースディレクター講演会

大田区立羽田小学校で東京マラソン車いすレースディレクター副島正純氏による講演会を実施しました。

- 2016年11月16日実施 大田区立羽田小学校



レース用車いすの試乗体験



スポーツの

力

社会貢献

Viva! 障スポ!!(障害者スポーツ振興プログラム)

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

障害者スポーツ体験報告コンテンツの制作・発信、障害者スポーツの観戦、関連メディアの改善・レベルアップなど、障害者スポーツ普及のための施策を実施しています。障害を持つ子どものうち、主に普段スポーツに接点があり無い子ども及びその家族を対象として、スポーツへの関心を喚起し、さらに実際にスポーツを楽しむ機会を提供するために、小中学生に対して、オリジナルグッズ(パスケース)とリーフレットの配布を行っています。また、都内の障害者スポーツセンター等で主催するスポーツイベントをPRしながら利用登録の促進を行っています。

2016年度活動報告

- 2016年11月20日実施 東京都障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技・観戦会
- 2017年1月25日実施 バレーボール競技(精神障害部門)観戦会
- 2017年1月29日実施 車椅子バスケットボール競技・観戦会
- 2017年2月11日実施 バレーボール競技(身体障害部門)観戦会



オリジナルグッズ(パスケース)

チャリティ・アンバサダーのご紹介



大島 めぐみさん Megumi Oshima

多くの方の支えが大きな力になることを感じてきました。この活動を通じて、誰もが新たなチャレンジに踏み出すことのできる環境が実現することを願い、私も未来のアスリートたちを支えていく力になれるようチャレンジします!



M 高史さん Takashi Emu

東京マラソン2017、レース終盤、苦しい時に粘れたのは、支えてくださった皆様、チャリティご協力いただいた皆様の応援のおかげでした!「走る」「支える」「応援する」1人1人の力を合わせてスポーツレガシーを築き上げていきたいですね!



中村 優さん Yu Nakamura

2017年、東京マラソンのボランティアに参加しました。「出場する人」、「応援する人」、「支える人」、関わる人すべてが笑顔だったのが印象的でした。スポーツを通じた社会貢献の方法も様々な形があります。広く伝えていけるように、笑顔で精一杯、頑張ります!

スポーツレガシー事業運営委員会のご紹介



委員長

早野 忠昭 Tadaaki Hayano

東京マラソン財団事業担当局長/東京マラソンレースディレクター

東京マラソンチャリティで集まった人々の想いを基盤としながら、「みんなの手で創り出し、つないでいくレガシー」というコンセプトを掲げ、「スポーツが後世に残すもの」つまりスポーツの「レガシー」の創造と継承を、東京マラソンのミッションとして取り組んでいきます。私たちの生活が豊かで幸せなものになると実感できるように、ぜひスポーツレガシー事業を応援してください。



委員

為末 大 Dai Tamesue

元プロ陸上選手

今回のプログラムを通じて、日本のアスリートが人間的に成長し、引退後も含めその知見を生かしてスポーツだけではなく国際社会でリーダーシップを発揮してくれるはず。世界に影響を与える次のスポーツリーダーを育てる事が最も重要なレガシーだと私は考えます。

委員

大嶋 康弘 Yasuhiro Oshima

日本陸上競技連盟 事業部長

委員

内藤 典子 Noriko Naito

東京都オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部調整課長

SPORTS LEGACY 寄付実績

■東京マラソン2017

寄付274件
寄付総額
30,237,470円

■東京マラソン2016

寄付291件
寄付総額
29,710,312円

■東京マラソン2015

寄付304件
寄付金額
20,435,059円

累計869件
累計金額
80,382,841円

2017年度実施予定プロジェクト



ダイヤモンドアスリートプログラム

公益財団法人日本陸上競技連盟

世界を舞台にリーダーシップを発揮し、子どもたちの憧れとなるようなスター選手の育成をサポートします。

(2015年度～)



キッズアスレティックス × 東京マラソンスタイル

日本キッズアスレティックス協会(一般社団法人キッズアスレティックス・ジャパン)

子どもたちのスポーツ基礎力を高めるとともに、陸上競技への関心が高まるようサポートします。

(2016年度～)



日本パラ陸上競技選手権大会

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

日本パラ陸上競技選手権大会(6月10日、11日開催)の運営をサポートします。

(2017年度)



ランニングコース整備

ランナーが気軽にランニングを楽しみ、仲間とともに継続できる環境の整備をサポートします。

(2016年度～)



車いす陸上チャレンジサポート

一般社団法人ウィルチェアアスリートクラブ ソシオSOEJIMA

車いす陸上体験教室に参加した方が、実際に競技を続けられるようにサポートします。

(2016年度～)



寄付者特典



スポーツレガシー事業に寄付をいただいた方には、以下のような特典をご案内しました。2017年5月までの実績をご紹介します。2017年度にも開催予定ですので、スポーツレガシー事業に関する意見交換や交流の機会としても積極的にご参加ください。



「東京マラソン」当日のラウンジ無料招待

東京マラソン2017では、フィニッシュエリアにおいてスポーツレガシー事業に寄付をいただいたチャリティランナー向けにラウンジを設け、軽食を召し上がっていただきました。ご家族にも待ち合わせスポットとしてご利用いただきました。



ランニングクリニックへの無料招待

東京マラソン2017出場までの3カ月前よりランニングクリニック(講習会)を実施しました。講師には、チャリティ・アンバサダーの大島めぐみさんを迎え、時期別のトレーニング方法や食事摂取など、座学と実習により合計3回実施しました。



寄付金事業の視察・招待

寄付金事業が実施される際に視察や交流を目的として実施しました。

- ・ダイヤモンドアスリート認定制度の第3期認定式及び修了式(結団式の出席、ダイヤモンドアスリートとの交流会)
- ・車いす陸上体験教室
- ・東京都障害者スポーツ大会各種目



関連イベントへの無料招待

その他、寄付金事業に関わるスポーツ大会等のイベントに無料でご招待しました。

- ・東京マラソン財団オフィシャルイベント(5月、10月に開催。スポーツレガシーチームとして無料招待)
- ・セイコーゴールデングラプリ陸上2017(観戦会、バックヤードツアーを実施)

事業についての詳細・お問い合わせはこちらから

SPORTS LEGACY

TOKYO MARATHON FOUNDATION

スポーツレガシー事業

公式ウェブサイト

<http://www.marathon.tokyo/sportslegacy/>

スポーツレガシー事業は、東京マラソン2018チャリティの寄付先事業の一つです。



CHARITY
TOKYO MARATHON 2018

東京マラソン2018チャリティ

公式ウェブサイト <http://www.marathon.tokyo/charity/>

お問い合わせ事務局

E-mail info_charity@tokyo42195.org

Tel 03-5474-2091 受付時間:10:00~17:00(土日、祝日、年末年始を除く)

発行:一般財団法人東京マラソン財団
2017年6月

